

ATP負荷心臓MRI検査を受けられる方へ（造影撮影）

予約時間の40分前に総合受付にお声かけください。受診、検査のお手続きを致します。
80番に受付票、診察券、問診票、同意書を提出してください。

食事は、検査予約時間の3時間前までに済ませてください。

水分・内服薬は普段通りでかまいません。

**カフェインをとると正確な検査結果が得られなくなるため、
日の正午からカフェインを含む物はとらないでください。**

前

飲み物は、麦茶、白湯、水にしてください。

検査直前の飲食はお避けください

- ・ 撮影時間は検査内容によりますが、約60～90分です。事前にお手洗いをすませてください。
- ・ 薬のアレルギーがある方、妊娠の可能性のある方は検査前に申し出てください。
- ・ 頭部・頸部の検査の方は化粧をせずにおいでください。
（化粧品に金属成分が含まれる場合、熱傷をするおそれがあります）
- ・ 検査終了後、造影剤が尿と一緒に排泄されるよう水分をいつもより500ml程度多く飲んでください。
- ・ 造影剤による副作用は時間が経過してから起きる場合もあります。
（検査後24時間以内）発疹・かゆみ・じんましんのような症状がある場合は
すぐにご連絡ください。

問い合わせは 平日 16時～17時までの間にお願いします。

循環器呼吸器病センター 045-701-9581 MRI室

問診票

ID 氏名 年齢 歳 性別

安全に検査を受けていただくために、必要な質問です。ご本人、ご家族の方が責任を持ってお答えください。——
—（はい、いいえ、わからない）のうち、どれか一つだけ○で囲んでください。

＊＊体内にペースメーカーなどの電子機器や、脳動脈クリップ、置き針などの磁性体の金属が入っている方は原則として検査できません。 ＊＊

1. 心臓ペースメーカー、人工内耳・中耳を使用していますか？ （はい、いいえ、わからない）
2. 体内に精密機器を埋め込んでいますか？ （はい、いいえ、わからない）
3. 脳動脈瘤の手術をしたことがありますか？ （はい、いいえ、わからない）
4. 体内に（薬物注入用）ポートを埋め込んでいますか？ （はい、いいえ、わからない）
5. 体内に置き針を埋め込んでいますか？ （はい、いいえ、わからない）
6. 手術などで体内に金属（手術用クリップ、手術用ワイヤー、
ステント、コイル、人工血管、人工弁、人工関節、人工骨頭、
固定具、プレートなど）や異物（弾丸、リングなど）が
入っていますか？ （はい、いいえ、わからない）
7. 義肢、義足、義眼等を使用していますか？ （はい、いいえ、わからない）
8. 目の中に金属（金属片）が入っていますか？また、過去や
現在に目の中に金属が入るような可能性のある職業
（例えば建設機械を扱う仕事など）に就いたことがありますか？ （はい、いいえ、わからない）
9. 義歯（入れ歯）、磁石式義歯を使用していますか？ （はい、いいえ、わからない）
10. 補聴器を使用していますか？ （はい、いいえ、わからない）
11. 眉やまつげにパーマメントメイクアップ、又は
身体に刺青をしていますか？ （はい、いいえ、わからない）
12. 喘息と言われたことがありますか？ （はい、いいえ、わからない）
13. 腎臓病または腎機能異常と言われたことがありますか？ （はい、いいえ、わからない）
14. 薬剤でアレルギーがありますか？ （はい、いいえ、わからない）
15. 狭い所に入って気分が悪くなったことがありますか？ （はい、いいえ、わからない）
16. 女性の方へ。現在、妊娠していますか？ （はい、いいえ、わからない）
17. 現在の体重をお聞かせください。 （ ） kg

ご協力ありがとうございました。ご署名の上、当日造影剤の同意書と共にお持ちください。

年 月 日 回答者氏名_____（続柄 ）

MRI検査（造影剤使用）の説明および同意書

検査日

ID

氏名 様

【検査の内容について】

MRI検査は強力な磁石の力で体の内部を写真に撮る装置です。放射線の被ばくはありません。検査は狭い所に入って行い、検査中大きな音がしますが、それ以外に苦痛を伴うことはありません。なお、強力な磁石の中に入って検査しますので、ペースメーカーの方は検査できません。その他、けがなどで体内に金属が入っている方は、金属の種類によって検査できないことがありますので、必ず医師とご相談ください。

【造影剤について】

MRI検査の際に病気の種類によっては、MRIの信号を変化させる薬（造影剤）を静脈から注入しながら撮影するとより詳しい診断が可能となります。この薬は、ガドリニウムという金属を主成分としていますが、造影剤はこれを血管内に注入しても安全なように加工したものです。しかし、まれに以下の副作用が起こる場合があります。

【造影剤で起こりうる副作用について】

じんましんや気分不快などの軽い副作用；500～1000人に1人

ショックなどの重い副作用；25000人に1人

死亡にいたる副作用；10～100万人に1人

【副作用の危険因子について】

以前にMRIの造影剤で副作用の出た方は、また起きる可能性がありますので、主治医にご相談ください。喘息の方、CTの造影剤でアレルギーの出た方では副作用の出現する頻度が高くなります。腎機能の低下している方は、後になって重篤な副作用（腎性全身性線維症）を起こす場合がありますので、主治医にご相談ください。

当センターで5年間におよそ5000件のMRI造影検査を実施しており、じんましんなどの比較的軽い副作用が10人程度に出現しています。重い副作用や死亡した方はありません。

説明日：

以上、MRIの造影検査に関する説明を行いました。

地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター

医師

印

以上の説明を受け、納得しましたので、MRI検査（造影剤使用）を受けることに同意します。

地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター 所長殿

患者氏名

親族または代理人（配偶者・父母・兄弟姉妹・親権者・保護義務者・法定代理人・その他）

氏名